

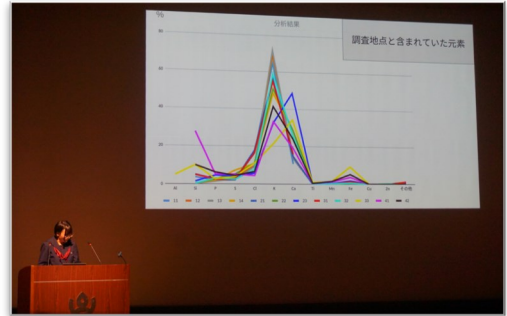
鹿本高校SSH通信 Vol.30



1年間の研究について、発表会をしました。

理数探究YSP(山鹿サイエンスプログラム)研究成果発表会

3月14日(木)、2年生を中心に1年間研究してきた各研究分野の代表者が、山鹿市民交流センター文化ホールにて研究発表を行いました。SSH事業に係わっていただいている崇城大学の長濱先生をはじめ、Glocal Academy 理事長の岡本先生や熊本大学の田口先生、大学の先生方、熊本県教育委員会の先生方を前に堂々と発表しました。1年生も、先輩の研究発表に興味を持ち、発表後に何度も質問をする生徒もいました。



嶋田さんの研究で行った成分分析の図



来賓の先生方から質問を受ける生徒たち



崇城大学 長濱教授による講評

研究テーマ

- 「アンパンマンのストーリーの変化～変化するストーリーと根強い人気の理由～」 三森さん(人文科学分野)
- 「無意識学習と意識学習～シュート確率が向上するのはどちらか～」 片山さん・原口さん(スポーツ健康分野)
- 「小学校教職員が求める働き方改革とは」 大城戸さん(教育・社会分野)
- 「山鹿市の空き家と地域活性化」 猿渡さん・井上さん(地域・防災・法律分野)
- 「菊池川水系の水質と植物」 嶋田さん(科学分野)
- 「ブルーライトと睡眠の質の関係」 山内さん(医療・福祉分野)

3月15日(金)には、25の教室及び体育館に分かれ、1・2年生全員が1年間を通して取り組んだ探究活動の成果をポスター発表しました。同級生・先輩・後輩の発表を互いに聞くことで、次年度の課題研究につなげる良い機会となりました。保護者や地域の小・中学校の先生方にも御来校いただきました。

